



「ライン河畔より」

「舟の右側に網を打ちなさい。そうすればとれるはずだ。」
ヨハネによる福音書 21 章 6 節

ホームページ <http://www.komatsugawa-ch.com/PfarrerIn-Ryokosasaki>

ケルン・ボン日本語キリスト教会ホームページ <http://koelnbonn.jp/>

佐々木良子宣教師ドイツ連絡先 Breslauer Str.26. 50858 Köln Germany

Tel: +49 1512910 6278 E-mail: r310130s@yahoo.co.jp



ご挨拶 Guten Tag! 主の聖名を賛美いたします



ドイツでの宣教の働きのために、お祈りと尊いお捧げものをもって、宣教の業をご一緒に担ってくださる神の家族の皆様にご心から感謝申し上げます。多くの方々のご支援のもとで7年目の春を迎えますが、心も身体も守られている幸いを実感しております。

しかし6年という長い年月の間には、ご支援頂いた愛する方々が召され、とても寂しく思うと同時に、お礼の言葉を直接お伝えすることができずに悔やまれます。天の御国で再会した際、感謝の意を表すと共に恵みの報告ができますように、与えられた時を大切に用いて参りたいと思っております。

欧州では春に向けて with コロナの新しい時代に移行し始めたと同時に、ロシアによる傍若無人なウクライナ侵攻によって、一般市民が犠牲となり平和が壊されました。戦禍におられる方々の恐怖や苦しみ、悲しみの奥深さは計り知れません。陸続きの身近な所で起こっている一大事に対して、何もできない無力さを感じていた時、徐々に負の要素に引き込まれてゆく自分にハッとしました。そこにはキリスト者としての姿はありませんでした。

「あなたがたは、主キリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストに結ばれて歩みなさい。キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられたとおりの信仰をしっかりと守って、あふれるばかりに感謝しなさい」(コロサイの信徒への手紙 2 章 6~7 節) この聖書箇所は3月6日の主日礼拝で語らせて頂いたもので、ロシアの軍事侵攻以前に選んでいた説教箇所です。神様が既に現在の私の心を見抜いておられ、信仰者としての歩みを問い質されたように思われました。どこに目を向けてどう生きるか、自分自身の信仰をもう一度吟味し、キリストに根を下ろして信仰生活が整えられてゆくことに目覚めさせられました。

召命の再確認

数年前から世界を覆っている新型コロナウイルスや現在の戦闘情勢を目の当たりにしている私たちは、近年ほど「命と死」について考える時はなかったかと思えます。大人は勿論、特に幼な子は生まれて初めて直近で見聞きする「死」への恐怖を体験していることをお母様方から伺いました。恐怖に怯え傷ついた子どもたちの心を癒やせるのは、イエス様の御言葉のみです。現実の世界は闇に覆われていますが、本来はイエス・キリストによる愛の支配の世界があることを指し示してゆくの、今の私の召命であると改めて確信しました。暫く休会していた子どもの礼拝は、丁度今年1月よりスカイプにて再開したので「永遠の命」について数回に分けてお話しているところです。

あるお母様から頂いたメールです。「戦争の現状を見る度に胸が締め付けられる思いです。〇〇が感受性豊かで、戦争の話のパパから説明聞いたら、目を潤ませていました。地球儀を使ってロシアとウクライナについて最近良く話してくれます。『でも、死んでも悲しくないんだよ、だって、また会えるから!』と、この前、佐々木先生が話して下さった事も同時に覚えていて、話してくれました。・・・本人は色々吸収しています。」〇〇君は5歳の男の子ですが、聖書のお言葉を素直に受け止め、「永遠の命」に希望があることを両親に告げました。御言葉の光を放つものとして、神様が幼な子を用いて下さったことに感銘を受けました。困難な時代だからこそ、福音の喜びと希望をこれまで以上に力強く語り続けて参ります。

今後の教会の目標・聖書通読 & 懇談会 ⇒⇒⇒ お祈りお願いいたします。

「あなたは生まれ故郷 父の家を離れて わたしが示す地に行きなさい。」(創世記 12 章 1 節) 6年前に赴任する際、与えられた御言葉でドイツの地に遣わされて参りました。今後、主が示された教会の進むべき地は何処やら・・・私のこれからの3年間は、教会の方々と一緒に神の御心を祈り求めてゆく大切な時だと考えています。その為には先ず聖書の御言葉に養われることだと示されて、今年から教会全体で「聖書通読日課表」を用いて1年間の聖書通読を始めています。神が何を求めておられるのか聖書を通してお聴きし、一同が神の御心を確信できることを祈っています。

これまでは主から頂いたヴィジョンの実現に向けて、教会の方々が私を陰で支えてくださいました。しかしこれからは、信徒の方が各自で幻を見て実現できるように、私は陰で見守っていきたくと思っています。教会に連なるお一人おひとりが幻を共有し、互いの思いに耳を傾けていけるように懇談会を年に3回開催することにしました。神様のお導きと聖霊に助けられて、一步一步前進してゆくことに期待しています。



「佐々木良子宣教師を支える会」からの感謝とお願い

敬愛する皆様

日頃は佐々木良子先生の働きを覚えて、お祈りとご支援を賜り、心から感謝申し上げます。
先生は、2019年に脳腫瘍を患われ、急遽支える会の皆様にご加禱をお願いいたしました。手術は成功し癒され、皆様の祈りとお支えにより宣教活動を支障なく続けられております。

2020年春、宣教報告のため日本に一時帰国して、お招き頂いた教会で宣教報告と共に皆様と良いお交わりができましたが、新型コロナウイルスの世界的な感染蔓延に遭遇し、急遽ドイツへ帰らざるを得ませんでした。ドイツでは厳しいロックダウンなど感染防御のための様々な手段が講じられ、支える会の委員のメンバーは、宣教活動も中断せざるを得ないのかと大いに心を痛めておりました。しかし、ロックダウンと同時に Skype 礼拝へと切り替え、翌週には聖書の学び会も始まり、佐々木先生初め教会に集っておられる方々は混乱することなく、速やかに様々なことを対処され安堵いたしました。

オンラインのツールにより、毎週の礼拝が家庭で献げられ、日本からも参加することができ、礼拝後のお交わりもできています。在宅でお顔を拝見しながらお交わりができることに格別の感があります。コロナ禍の2年間、集会が一度も休止することなく続けられていることは、主の憐れみと慈しみによるものであると神様のお恵みに感謝しております。

Skype 礼拝に新しい方も加えられ、更には昨年10月より無牧のブリュッセル日本語プロテスタント教会の方々も参加し、ドイツ、ベルギー、日本とワールドワイドの礼拝が持てる恵みに深く感謝しています。教会での対面礼拝が可能な時はオンラインのハイブリッド礼拝も続けられています。このような困難な時期を過ごされていますが、先生は益々お元気で宣教活動に邁進しています。主は見事に最善を為してください、更に私たちの思いをはるかに超えてくださる。ハレルヤ。

さて、既に前号のニュース・レターやメールマガジンでご案内しておりますが、ケルン・ボン教会は先生の任期を本年4月から2025年3月まで3年間延長を希望し、先生も承諾され全会一致で承認されました。最後の3年間です。25年3月には離任して日本に帰国されます。またこのための滞在ビザ延長申請について申請環境の変化があり、心配の種でしたが教会員の方々が祈りつつ、先生を何かとサポートされた結果、3年間の滞在延長ビザも取得できました。その1年目が始まります。少人数のケルン・ボン教会の財政状況は引き続き厳しい中にありますが、精一杯先生をお支える決意であることを伺いました。

しかし、先生の宣教活動の働きが前進するには引き続き日本からの支援が必要になります。誠に恐縮ではございますが、皆様のお力添えが頼りとなりますので、どうぞご理解と共にお祈りとご支援をいただきたく伏してお祈り申し上げます。これまでもお支えくださっている皆様の上に、主の祝福が豊かにありますようにお祈り申し上げます。



2016年3月29日 成田空港にて
多くの方々の思いを心に刻んでドイツへ。
皆様の変わらないご支援に感謝いたします。

佐々木良子宣教師を支える会 会長 物井恵一・運営委員一同

教会存在の証し

私を含めて歴代牧師の就労先は公的には、「州教会」となっており、40年以上にも亘り種々の恩恵に与ってきました。しかし、2022年3月をもってその関係は終了することになりました。従って4月より就労先は本来のケルン・ボン日本語キリスト教会へと移行します。

この変更により、滞在許可証・ビザ申請の際に影響を受けるのではないかと懸念がありました。というのは、キリスト教国であるドイツは、就労先が「州教会」というだけで信頼に値します。そのため、覚悟をもって書類を提出したのですが面接の際には何ら質問もなく、これ迄と同様にスムーズにビザが発給され、取り越し苦労で終わりホッとしました。

このことを通して、ケルンの地で日本の教会が長年宣教活動してきたことは、ドイツで認められたという証しであると、確信を持つことができました。これまで導いてくださった神様に感謝し、更に誠実に歩んで参ります。このことは、教会にとって大きな励みとなりました。

所感

- ★コロナ禍の中で忍耐と順応性が養われ、「これでなければならない」⇒「何とかする ⇒何とかして下さる」という大らかさと共に、主への信頼度アップとなりました。
- ★10月よりブリュッセル日本語プロテスタント教会が無牧となった為に、教会の方は一緒に私たちと共に礼拝をお捧げし、又、聖書の学び会にも参加されています。新しい風が吹き込まれ良い刺激となっています。子どもの礼拝の奉仕も担ってください感謝です。
- ★教会では聖書通読を1月1日から一斉に始めていますが、皆様は新しいことに即座に順応し、又、新型コロナウイルスが猛威を奮おうとも、ウクライナ・ロシア間が戦争状態にあっても、何事にも動じない強さを感じます。教会の方々の適応能力と芯の強さは、長年の海外生活で培われたものなのでしょうが…。
- ★ママの会に参加されている四家族の方々とのLINEグループを持っています。主に会への連絡用に使用していますが、パパたちも登録しているのでやりとりを目にします。最初は宗教色を出すことに躊躇しましたが、勇気を持って神様に関することを発信しています。最近、パパのコメントもあって恵みを感じています。

佐々木良子宣教師によるドイツ宣教報告 YouTube アップのご案内

先生からの宣教報告だけでなく、日常生活の一部もご覧いただけます。
限定公開のため、視聴をご希望の方は rsmmissionary.hp@gmail.com までご連絡下さい。
メルマガ担当(香)



— 身近なウクライナ情報 —

★欧州の平和のためのケルンカーニバル・ドイツ

ロシアの軍事侵攻に抵抗を続けるウクライナを支援しようと連帯の動きが広がっています。カーニバルの伝統的なバラの月曜日のパレード・2月28日はデモに合流し平和集会が開かれ、25万人ほどが参加したということです。ケルンではプーチン大統領が古き良き時代を取り戻したい反抗的な子どもとして表され、ウクライナに自由をというメッセージが伝えられました。

★ルーマニアからウクライナへ 欧州教職者・同労者の支援活動等のご紹介

ルーマニアで宣教しておられるK 宣教師とイタリアから駆けつけたU 宣教師は、ウクライナの国境近くまで足を運び物資を届けています。又、避難民に開放しているルーマニアの教会では御言葉と共に日常生活も支えておられます。国境にある数万人の避難民の「命の橋」について、先生が以下の通り紹介しております。古い木造の橋の上に、国境警備の警官たちがおもちゃを並べたそうです。その理由は大人が子どもに嘘をついて、自分も納得できない状況を必死に耐えながら逃げて来たそうですが、橋の所まで来て気が付いた子どもが行きたくないと泣き叫ぶので、恐怖心を和らげるためのものだという事です。



★ドイツ・ケルンのユニクロでの支援

ユニクロで知人が働いており、お話を伺う機会がありました。お店は自社のリサイクル衣類・見本品等を提供しているそうです。衣類を求めて避難民が入店した際、不安や恐怖と緊張で強張った顔つきのお母さんを目の前にして、何と声をかけてよいか、言葉がでなかったと心を痛めていました。



— 派遣される人 & 支える人を通して —

私は目に見える実質的な支援は叶いませんが、お祈りと捧げものをもってその一端を担わせて頂きながら少しでもお役に立てればと願っています。最前線で支援する者、陰でその働きを支える者という、二つの異なる使命が一つとなって初めて支援が可能になると思われました。其々の立場の異なった働きを神様が一つとしてくださり大きく用いてくださると信じています。

ドイツでの私の働きは皆様に支えて頂くばかりで、支えてくださる側の温かな思いを感謝して受け取ることはできても、そのリアリティに触れることはできませんでした。しかしウクライナの方々への支援を通して、支える側をほんの少し経験させて頂くことで、皆様の深いところにある思いに触れることができ、異なる場での「一体感」を体験させて頂いているように思います。



ルーマニアの先生が撮られた写真です。承諾を頂いて転載

このニュース・レターが皆様のお手元に届けられる頃には終息していることを切に祈ります。

ちよこっとコーナー

ショック & 感動

4 年前に転んで膝の十字靭帯を痛め、2 ヶ月のギプス装着。その後、1 年間のリハビリという苦い経験をしました。その時教えて頂いた膝と足を鍛える為の体操を毎朝欠かさず実行。更に毎週火曜日の夜は、ケルン市の体操教室にも通い足腰を鍛えています。にも拘らず、平坦な道でまた転ぶという情けないことが・・・。幸いにも打撲で済みましたが、転んだことのショックは未だに尾を引いています。

転んだ時、周りにいらした全員が私を囲みサッと手を貸してくださいました。ドイツではこのような隣人愛の光景は日常茶飯事です。その後、スーパーで私が買い物をしていると、ある方が「あなたはさっき両手をついたから、もしかしたら肩が痛くなるかもしれないから、病院へ行った方がいい」と、声をかけてくださいました。ドイツ人の胸に染み入る優しさは忘れません。

最近の楽しみ

趣味と実益を兼ねてキムチ作りに勤しんでいます。様々なことに行き詰った時の気分転換に最適です。無心にひたすら多量のニンニクの皮を剥いて潰して・・・etc. 日本に帰国された方から材料の残りを譲り受けたことがきっかけです。私には無理だと思い長い間冷蔵庫に眠っていましたが、意を決してチャレンジしたら癖になっています。

ドイツ語仕様の耳?

家で仕事をしている時、音のない世界は寂しいのでラジオをつけています。特に耳を傾ける訳でもなくドイツ語の聞き流しです。ある時何か違和感を覚えたので、耳を傾けたら英語でした。私の耳にはドイツ語が心地よいようです。しかし、確信をもって言えることは、耳に心地よいのと喋れることは正比例ではないということです。至極残念!!

現在の集会

- ★礼拝 14 時～15 時 スカイプ
イースターには会堂での礼拝を目指しています。
- ★こどもの礼拝 第3日曜日 13 時 30 分～50 分
- ★聖書の学び会 毎週水曜日 10 時～11 時 スカイプ
- ★ママの子育ての学び会 第2 火曜日 10 時 牧師宅
- ★ママの読書会 第4 火曜日 10 時
- ★聖書入門編 毎週火曜日 13 時
- ★家庭集会 2か所 月に一度 信徒さん宅



ドイツの桜が咲き始めました

佐々木良子宣教師を支える会 会計報告

主に在ってこの1年、皆様の御加禱とあたたかいご支援を心から感謝いたします。

2021年9月1日～2022年2月28日			
		(単位 円)	
収 入		支 出	
支援献金	1,386,600	宣教師支援金	1,562,480
特別献金	10,000	社会保険料等	0
クリスマス献金	89,000	ニュースレター発行	46,149
夏期献金	2,000	教会感謝献金	30,000
雑収入(受取利息)	18	事務通信費	6,958
		委員会費	773
		雑費(振込手数料)	11,280
		雑費(郵送通知料)	5,610
		退職手当積立金	370,000
小 計	1,487,618	小 計	2,033,250
前月繰越金	7,386,718	次月繰越金	6,841,086
合 計	8,874,336	合 計	8,874,336

献金者 ご芳名 (敬称略 五十音順)

支援献金

相原美枝子 青池博美 朝位真士 朝位フミ子 阿部順子 石井泰子 石川 徹 石川真知子 糸魚川喜一 伊藤 愛 伊藤いく子 伊藤君江 伊藤祐子 伊東正壽 伊東みどり 井上 馨 伊野彰一 今泉聖美 牛山輝代 内城節子 上杉洋子 上杉真子 浦川 肇 浦川恵子 江坂宏子 榎本明子 榎本康治 遠藤正一 遠藤教子 大作 寿 大橋 章 大淵美智子 岡崎 響 小塩トシ子 尾城信雄 尾城素子 鹿郷雄通 加賀谷則子 片石やすこ 片山まどか 桂川信子 加藤悦子 加藤弥生 金坂久子 金田佐久子 金森勝芳 神尾祐美子 川田裕生 北野節夫 北野順子 北野 信 北野 拓 木原恵子 久多良木和夫 久多良木志津子 空閑信憲 熊 成子 熊谷千鶴子 栗原初音 栗原愛子 黒沢龍吉 黒沢咲子 小泉 誠 小泉眞理 小林興司 小宮房江 近藤眞一郎 近藤美穂子 齋藤悦夫 齋藤喜江子 齊藤幸子 佐伯千恵子 榮 直美 相良佳子 佐久間弘子 佐久間文雄 櫻井淳子 佐々木千沙子 佐藤恒夫 佐藤フデ子 佐藤 誠 佐野明子 澤田 武 澤田直子 澤田大河 澤田拓生 薮 利勝 薮 清江 篠田真紀子 篠原照美 嶋 優子 島 隆三 島 静江 清水 潔 白井 均 白井昭子 神 和子 鈴木 啓 鈴木洋史 鈴木初子 鈴木優子 春原禎光 曾根邦彦 高野加奈子 高橋みどり 高花富夫 瀧田茂子 田尻可納子 蓼沼 貢 蓼沼百合子 田村久美子 辻浦健久 都築つとみ 都築英夫 寺村智恵子 嶋巢香穂利 嶋巢和徳 永井美智子 西海満希子 西村倭子 抜井太一郎 抜井教子 沼 みどり 野村啓二 橋本いずみ 原嶋和夫 原田時近 原田明子 張谷延河 張谷麻帆 廣田貞子 深沢 修 深谷春男 深谷美歌子 藤野洋子 藤本邦彦 藤本幸子 藤本律子 藤森知子 藤谷正一 古屋修身 古屋治雄 星野 環 細田多恵子 堀江直子 本多久恵 本田昌義 牧田 茂 榎本早苗 明瀬眞弓 松井美代子 松永映子 松丸香世子 松本幸子 箕輪幸子 皆川昌子 宮本峯子 宮本明実 宮本容子 村尾きよ子 物井恵一 物井ますみ 森山和彦 八重樫幸栄 八重樫福子 柳川義也 柳瀬明子 山口紀子 山崎広子 山下 誠 山根芳枝 山本房枝 山本史子 湯本春実 横田光江 横山義孝 横山勝よ 和海豊子 渡辺敦子 渡部裕子 匿名1名

赤羽教会 浅草教会 荒川教会 インターナショナル・バイブル・フェローシップ 大阪教会 亀戸教会 柏教会 京都復興教会 小松川教会恒励会 小松川教会婦人会 塩谷一粒教会 下谷教会 清水ヶ丘教会海外宣教会 洗足教会 洗足教会オリブの会 喬木教会 天門教会 西宮一麦教会 ホーリネスの群首都圏教師会 三崎町教会みさき基金 日本キリスト伝道会

クリスマス献金 伊藤君江 牛山輝代 佐藤 誠 春原禎光 嶋巢香穂利 沼みどり 橋本弘子 藤谷正一 松井美代子 渡部裕子 塩谷一粒教会 清水ヶ丘教会海外宣教会 洗足教会 夏期献金 辻浦健久 特別献金 鈴木優子 藤本三四四

献品 北野節夫 北野順子 神保ふみ子 鈴木優子 蓼沼百合子 嶋巢香穂利 西村倭子 松井美代子 物井恵一 物井ますみ

*大変失礼ながらお名前が洩れた方がおりましたらお知らせくださいますようお願いいたします

ホームページと連絡先のアドレスが更新されています。

「佐々木良子宣教師を支える会」又は、「小松川教会 佐々木良子」で検索して頂くと最初に出てくると思います。
<http://www.komatsugawa-ch.com/Pfarrerin-Ryokosasaki> Email: rsmmissionary.hp@gmail.com

— 編集後記 —

連日の報道で、大都市や病院が一瞬にして瓦礫と化する様や地下室での出産、避難する人々の群れを目の当たりにし、心がざわざわと波立っています。幼子の涙の訴えが、大国の指導者には届かないのでしょうか。人間の無力と罪深さを思い知らされています。一日も早く平和が戻りますように願ってやみません。

ケルンの Skype 礼拝に於いて「コヴェントリー寺院の祈り」を共に祈り、聖書の学び会では、少女時代の戦争体験をお話くださったご姉妹の篤き祈りに心打たれつつ、皆で祈りを捧げました。

コロナ禍で失うものも沢山ありましたが、心の隅に追いやっていた大切なことの一つひとつに気づかされ、国を越え同時刻に、キリスト者が共に祈りあうことができた事は、神様の恵み以外の何ものでもありません。欧州での生活が厳しさを増す事は必至です。これからも引き続きお祈りとご支援の程をよろしくお願い致します。
 溢れるばかりの主の祝福が皆様にありますように…。 J.K

佐々木良子宣教師を支える会公式ホームページ

<http://www.komatsugawa-ch.com/Pfarrerin-Ryokosasaki>
 ケルン・ボン日本語キリスト教会ホームページ
<http://koelnbonn.jp/>

連絡先 「佐々木良子宣教師を支える会」会長 物井恵一
 〒134-0081 東京都江戸川区北葛西 4-3-9・小松川教会内
 Tel:03-3869-5261 Fax:03-3869-5262
 Email: rsmmissionary.hp@gmail.com

送金先 郵便振替: 00120-3-450845
 銀行口座 三菱UFJ銀行小松川支店 店番463
 (普通) 口座 0113856

*定期的月額献金一口1000円から・随時自由献金
 *上記口座名義: 佐々木良子宣教師を支える会 会長 物井恵一